



全てのまちづくりは ここからはじまる

甲賀市総合計画・基本構想(素案)に ご意見を

甲賀市では、現在「甲賀市総合計画」を策定しています。
 甲賀市総合計画策定審議会を中心に「基本構想」の議論を重ねてきましたが、このたび「基本構想(素案)」がまとまりましたので、市民の皆さんのお考えをお聞かせください。ご意見をお待ちしています。
 本号では、今回まとめられた素案の概要(4・5ページ)をお知らせします。なお、詳細については、市のホームページ(<http://www.city.koka.shiga.jp/>)で公表しています。また、企画政策課及び水口支所を除く各支所地域振興課でも、ご覧になれます。
 お寄せいただいたご意見は、審議会で参考とさせていただきます。最終案を決定します。なお、意見の概要とこれに対する回答は公表しますが、個々のご意見に直接回答はしませんのでご了承ください。

総合計画とは

総合計画は、地方自治法の規定に基づき、効果的かつ効率的な行政運営を図るため、その総合的な指針としての役割を果たすものであり、各行政部門で進める各種施策は、この総合計画の目標・方向性に基づき行われることとなります。

*計画の目標年次

- 平成28年度(2016年)を目標年度とする
- 10年間(平成19年度(2007年)を初年度)

*総合計画の構成

- 基本構想**
「将来のまちづくりのあり方」や「まちの姿」といった「共有すべき目標(基本理念や将来都市像)」を示すものです。
- 基本計画**
基本構想を実現するための基本的な「施策の体系」と、「各施策の方向」を示すものです。

私たちのまちは今、甲賀市の現在の姿

計画の策定にあたっては、市の現状を把握することからスタートしました。昨年8月に市民意識調査を行い、その結果を参考にした市の特性やまちづくりの視点は次のとおりです。

*甲賀市の特性

- 森林の多い丘陵地で、河川沿いに平地が開ける自然豊かな地勢
- 紫香楽宮や宿場町、城下町としての歴史、信楽焼、甲賀流忍術、数多くの中世城郭などの歴史・伝統工芸
- 多彩な特産品(信楽焼、茶、かんぴょう等)
- 「郡中惣」など、古くから独自の地域連合体を形成
- 工業団地の造成による内陸工業地としての発展
- 近畿圏と中部圏をつなぐ立地特性
- 第二名神高速道路の整備により、広域交通条件の飛躍が期待

*甲賀市を取り巻く情勢からみた、まちづくりの視点

- 合併の効果を活かすためには、5つの地域が融合し、新市としての一体感を醸成していくことが重要である
- 甲賀市としてのシンボル性や個性を創出する
- 各地域が有する個性や特色をつなぎ、市民みんなの誇りとする
- 厳しい財政状況下において、取り組みの効果を最大化する
- 望ましい生活像を市民と行政が共有し、それをめざして重点的に取り組む
- 今ある地域資源(自然環境、特産品、観光資源、公共施設等)や人(知恵・技術・文化等)の力を最大限に活用しつつ、地域の活力や自立性を強化する

*市民意識調査結果

16歳以上の市民7,000人に
無作為抽出調査(回収率33%)

市民の意識
特に重視すべき施策分野について

- 「健康・福祉」と「安全・安心」が1・2位で突出。
- 次いで、若干低くなるが、「教育・文化」「環境共生」が続く。
- 全体で3位の「教育・文化」が、30〜40歳代や公務員、高校生以下の同居家族のいる人で多く、約半数の要望があがっている。
- 全体で5位の「産業振興」が、農林水産業で多く、約半数の要望があがっている。

定住意向(特に、若年層の意向)について

- 定住意向は全般的に高い。
- 若年層の移転要望が高い。
- 全体の移転理由は「交通の便がよくない」が突出し、次いで「買いたい物に不便」「娯楽・遊戯施設が少ない」「仕事の関係で」「学校や進学の関係で」の順に多い。



- 人口の伸び悩みや少子高齢化が進む中、人(特に若年層)の定住を促進し、人を呼び込むまちづくりが重要である
- 地域(地域資源や人)への愛着を育てる
- 第二名神高速道路の整備など、近畿圏と中部圏をつなぐ広域的な立地特性を活かす



目指すまちづくりの目標・方針

まちづくりのための基本となる目標や方針を次のように掲げています。

将来のまちの空間づくりの基本方針

- ◎豊かな自然環境をまもり、その恵みが感じられる暮らしの空間を創造します。
- ◎第一名神高速道路を活かし、各地域を効果的に結びつけるネットワークを確立し、交流と連携を促進します。
- ◎地域の立地特性と資源を活かした特色ある産業活動や、市民・来訪者の賑わいを生み出します。

- ◎平成28年度の人口プレームを約96,000人と設定します。
(平成17年の国勢調査速報値は93,856人)
- ◎今後の施策展開において、より一層、良好な住宅・宅地提供、就業機会の創出、定住促進のための様々な環境整備、地域のイメージアップ等や、若年層を中心とする定住化とUターン促進を図るものとし、10万人都市の実現をめざします。

将来の人口目標

将来像を実現するための分野別目標

- 目標1 生活の安心感をみんなで育てる
- 目標2 自然環境を大切に、暮らしへの価値を高める
- 目標3 安全で快適な生活の基盤を整え、まちの活力を高める
- 目標4 地域の特性を活かし、元気な産業を育てる
- 目標5 たくましい心身と、郷土への誇りをもつ人を育てる
- 目標6 市民と行政の協働により、まちの成長力を高める

分野別の基本計画

みなさんのご意見を 聞かせてください

- 意見募集の期間** 6月15日(木)~7月14日(金)の30日間
- 原案の公表** 甲賀市ホームページ
企画政策課及び各支所(水口支所除く)地域振興課窓口での閲覧
- 応募資格** 市内に在住又は在勤、在学する方
市内に事務所、事業所を有する個人及び法人、その他団体
本市に対して納税義務がある個人及び法人、その他団体
- 応募方法** 住所、氏名、電話番号を明記のうえ、直接持参いただくか郵便(締切日必着)、FAX、Eメールでご応募ください。(意見書の様式は、市のホームページに掲載していますが、任意の様式でも結構です。)
- 応募先・問い合わせ先**
〒528-8502 甲賀市水口町水口6053番地
甲賀市役所 企画部 企画政策課
TEL0748-65-0670 FAX0748-63-4554
Eメール koka211000@city.koka.shiga.jp

まちづくりの理念

~10年後、こんなまちを創りたい~

今後、10年間のまちづくりの理念について次の3点を掲げています。

- **自然のもたらす大地の恵みが、市民の暮らしに強く結びついているまち**
豊かな自然を背景に育まれてきた多彩な大地の恵みは、かけがえのない私たちの宝です。この甲賀らしさを大切に、まちの環境や暮らしの豊かさに活かした、誇りと愛着あふれるまちをめざします。

めざすまちの状態

- かけがえのない自然環境やその恵み(特産物、風景)を市民の暮らしに活かしている。
- 季節(とき)や旬を五感で楽しみ、誇りややすらぎを実感している。
- 第2のふるさととして甲賀の自然や産物が多く来訪者に親しまれている。
- 生き物との共生、森林・里山文化の維持など、豊かな自然をみんなで守り支えている。
- 限りある資源を大切に、循環させる暮らしが広がっている。

- **地域を担う人が育ち、広域的な交流や活力が生まれているまち**

少子高齢化が一層進む中、まちを元気にしていくためには、人づくりや産業基盤の強化を進めていくことが重要です。若者が定住し、地域内外を結ぶ交通や高度情報ネットワークを活かしながら、さまざまな交流や特色ある産業を育て、活力と賑わいのあるまちをめざします。

めざすまちの状態

- 地域の歴史や文化に誇りを感じ、伝承していくとともに、新しい文化が生まれている。
- 子どもがのびのびと育ち、市民の笑顔と活躍の場が街なかに広がっている。
- 世代や地域を越えた活発な交流活動が生まれている。
- 近畿圏と中部圏をつなぐ立地特性と、第二名神高速道路をはじめとする広域交通や高度情報ネットワークを活かし、住みやすく、訪れやすいまちとなっている。
- いきいきと働ける元気な職場や特色ある地場産業等があり、地域資源を活かした起業が盛んである。

- **互いの人権が尊重され、生活の安心感や生きがいをみんなで高めているまち**

ずっと住み続けたいと思えるまちを実現していくためには、人のつながりを深め、みんなでより良いまちを築いていくことが重要です。市民と行政が果たすべき役割をそれぞれが認識し、協働して取り組んでいくとともに、個を認め合い、学び合い、助け合いながら、互いの安心感や生きがいを高めあっていくまちをめざします。

めざすまちの状態

- すべての人がお互いを認め合い、部落差別をはじめとするあらゆる差別のない幸せな暮らしをおくっている。
- 「自分達のまちは自分達で創る」を合言葉に協力してまちづくりを実践している。
- 人のつながりを深め、近隣、地域で助け合い、災害や犯罪に対する安全と、子育てや高齢者などの健康な暮らしに対する安心感を高め、福祉豊かなまちを築いている。
- 一人ひとりが学びや交流により個を高めあい、生きがいを持ってともにまち全体を良くしていく活動に活発に参加している。



人 自然 輝きつづける あい甲賀